

新体協 第110号
平成28年5月13日

加盟競技団体事務局長 様
市町村体育協会事務局長 様

公益財団法人新潟県体育協会
事務局長 阿部 徹

平成28年度公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会の開催について（通知）

（公財）日本体育協会では（公財）日本体育施設協会と共に、標記講習会を別紙要項により開催いたします。

つきましては、貴会関係者にご周知のうえ、受講を希望される方は指定された方法により期日までに直接日本体育協会へお申込みください。

同封資料：受講の手引き

担当：競技スポーツ課 藤倉 TEL 025-287-8600 FAX 025-287-8601 E-mail kyougil@niigata-sports.or.jp

平成 28 年度 公益財団法人日本体育協会
公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会

受講の手引き

SPORTS
JASA OFFICIAL LICENSE

平成 28 年度公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会 開催要項

1. 目的

地域スポーツクラブなどにおいて、幼・少年期の子どもたちにあそびを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う指導者の養成を目的とし実施する。

2. 主催 公益財団法人 日本体育協会

3. 受講者(受講条件)

1) 受講条件 受講を開始する年の4月1日現在、満20歳以上の者。

2) 受講者数 50名

※ 先着順

※ 必ず平成28年度中に共通科目・専門科目共に全日出席できる者

(注)現行カリキュラムによる講習会は今年度で終了し、平成30年度より新カリキュラムにて実施予定である。そのため、今年度は全カリキュラム参加できる者を対象に募集を行うことから、定員数は50名とする

3) 受講者の決定

受講申込の申請に基づき免除等の書類審査の上、受講者を決定し、本人宛に通知する。

4. カリキュラム

1) 共通科目 I 35時間【共通科目 I (通信教育)】

- ① 文化としてのスポーツ
- ② 指導者の役割 I
- ③ トレーニング論 I
- ④ スポーツ指導者に必要な医学的知識 I
- ⑤ スポーツと栄養
- ⑥ 指導計画と安全管理
- ⑦ ジュニア期のスポーツ
- ⑧ 地域におけるスポーツ振興

(注)共通科目 I は、NHK学園の通信講座を受講する。

2) 専門科目 40時間(集合講習 27時間 自宅学習 13時間)

① 基礎

- ア. ジュニア期のスポーツの考え方
- イ. ジュニアスポーツ指導員の役割
- ウ. 子どもの発達とコミュニケーションスキル
- エ. コーディネーション能力を高める運動

② 乳幼児期

- ア. 動きの発達とスキルの獲得(基本的動作の習得)
- イ. 運動あそび・ゲームの実際

- ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ③ 児童前期
 - ア. 動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)
 - イ. 運動あそび・ゲームの実際
 - ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ④ 児童後期
 - ア. 動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)
 - イ. スポーツスキル獲得の実際
 - ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ⑤ 青年前期
 - ア. 動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの獲得)
 - イ. スポーツスキル獲得の実際
 - ウ. コーディネーション能力を高める運動
- ⑥ 指導実習

(注) 専門科目の集合講習は前期と後期に分けて実施し、前期受講修了者のみ後期講習に参加することができる。

5. 実施方法(開催期日・会場)

- 1) 共通科目(共通科目Ⅰ)／通信講座(NHK 学園)
- 2) 専門科目／集合講習(27 時間)及び自宅学習(13 時間)

<集合講習会場>

前期:平成 28 年 9 月 2 日(金)～4 日(日)3 日間

後期:平成 28 年 11 月 19 日(土)～20 日(日)2 日間

会場:スポーツ総合センター<埼玉県>

埼玉県上尾市東町 3-1679 スポーツ総合センター

※ 講習会参加のための旅費、宿泊費については自己負担とする。

(注) 現行カリキュラムによる講習会は今年度で終了し、平成 30 年度より新カリキュラムにて実施予定である。そのため、今年度は全カリキュラム参加できる者を対象に募集を行うことから、定員数は 50 名とし、講習会場は 1 会場のみとする。

6. 検定試験・審査

講習に基づく検定試験は、共通科目と専門科目に区分して実施する。

- 1) 共通科目における検定試験は、通信教育(NHK 学園通信講座)課題検定による判定とし、日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。
- 2) 専門科目における検定試験は、後期講習会最終日に実施する筆記試験による判定とし、日本体育協会指導者育成専門委員会において審査を行う。
- 3) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格した者を「公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会」修了者として認める。

7. 受講申込

1) 申込方法

インターネットサービス「指導者マイページ(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」の登録手続きを行い、指導者マイページより本講習会の申込手続きを行います。申込方法の詳細については、下記の URL よりご確認ください。

■日本体育協会ホームページ：ジュニアスポーツ指導員
<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/214/Default.aspx>

- 2) 申込期間 平成 28 年 6 月 1 日(水)～6 月 30 日(木)
※先着順

8. 受講料(検定料を含む)

- 1) 共通科目：19,800 円(消費税込み)
◎共通科目免除者は不要。
[免除対象者については、10. 講習・試験の免除を参照]
- 2) 専門科目：21,600 円(消費税込み)
(注)集合講習会参加のための旅費、宿泊費については別途自己負担。

9. 受講有効期限

- 1) 共通科目 1 年間(再学習料金は 18,000 円)
2) 専門科目 4 年間

10. 講習・試験の免除

- 1) 下記資格保有者(登録者)は、共通科目を全て免除する。
- ① 日本体育協会公認指導員・上級指導員
 - ② // コーチ・上級コーチ
 - ③ // 教師・上級教師
 - ④ // スポーツプログラマー
 - ⑤ // フィットネストレーナー
 - ⑥ // アスレティックトレーナー
 - ⑦ // クラブマネジャー
 - ⑧ // アシスタントマネジャー
 - ⑨ // スポーツ栄養士
 - ⑩ // スポーツリーダー
 - ⑪ 日本スポーツ少年団認定員
 - ⑫ 日本レクリエーション協会公認 レクリエーションコーディネーター
 - ⑬ // 野外活動指導者(ディレクター1級)
 - ⑭ 健康・体力づくり事業財団公認 健康運動指導士
 - ⑮ 免除適応コース共通科目修了証明書取得者
 - ⑯ 一部の免除適応コース承認校(大学)を卒業(詳細は本会ホームページにて確認)

11. 資格の登録及び認定

- 1) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格し、資格登録の手続きを完了し所定の登録料を納めた者に、日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員の「認定証」及び「登録証」を交付する。
- 2) 登録料は 4 年間で 10,000 円(初回登録時のみ 13,000 円)とする。
- 3) 資格の登録有効期間は、4 年間とし 4 年毎に更新する。ただし、認定される公認ジュニアスポーツ指導員資格以外に、すでに日本体育協会公認スポーツ指導者資格を登録している場合は、その資格の登録有効期限までを初回の登録有効期間とする(スポーツリーダーは除く)。資格の登録を更新する際は、資格の登録有効期限の 6 ヶ月前までに、日本体育協会が定める研修を受けなければならない。

12. 注意事項

・本講習会の受講有効期限内に他の本会公認資格の受講はできないため、注意すること。また、他の本会公認資格を受講中の場合も受講申し込みはできない。

13. 問い合わせ先

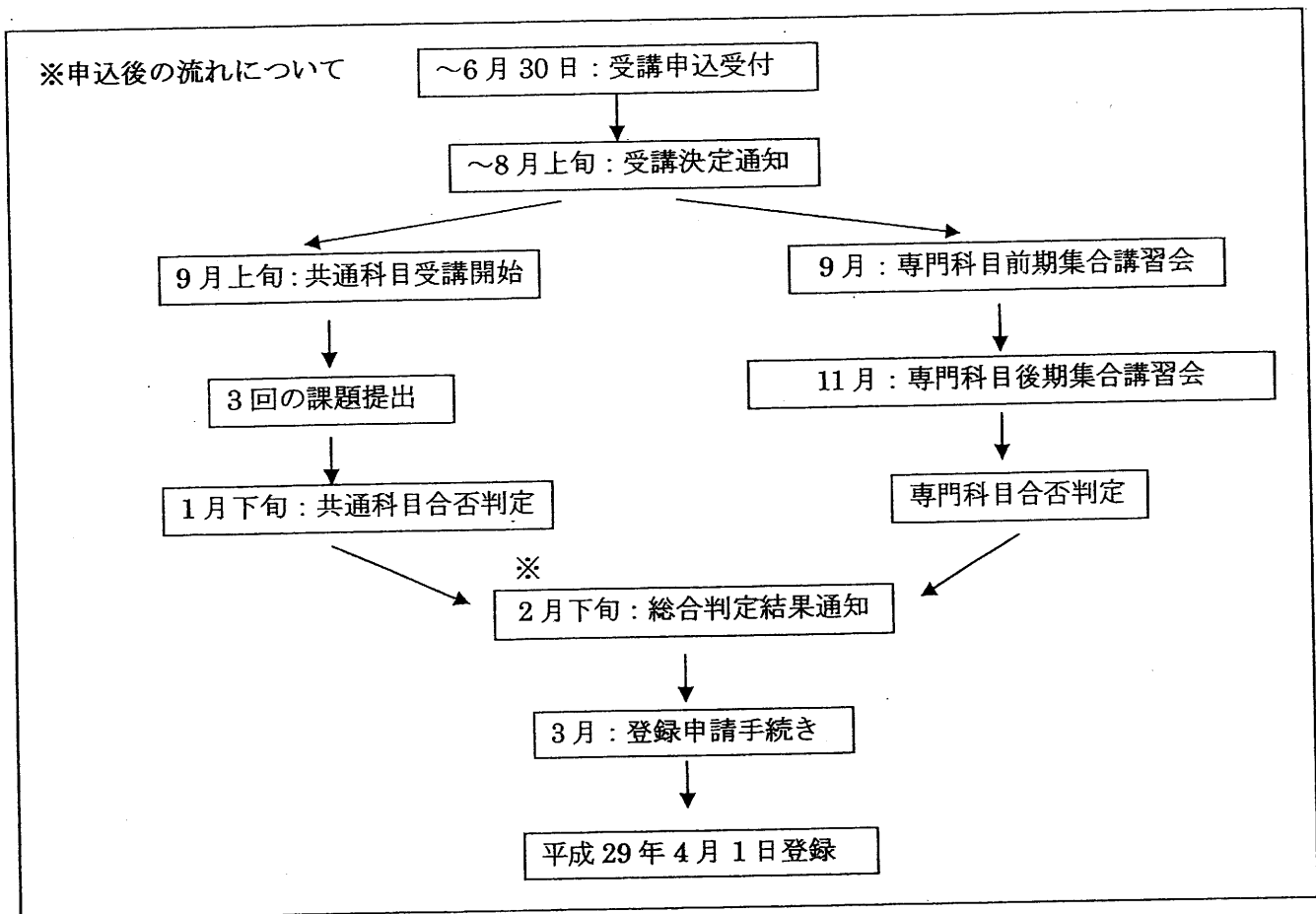
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内

公益財団法人 日本体育協会

スポーツ指導者育成部 育成課 ジュニアスポーツ指導員係

TEL:03-3481-2226 FAX:03-3481-2284 Email:junior@japan-sports.or.jp

<問合せ時間>平日 9:30~17:30(12:00~13:00を除く) / 土・日・祝日休み



※合格者へは修了通知及び登録申請案内、不合格者へは次回開催の検定試験案内を送付。

※受講申し込みにあたり提供いただく個人情報は、公認スポーツ指導者養成団体が共同利用することとし、本養成講習会の運営・管理および諸連絡に使用します。
また、スポーツ指導者の活動に関する調査にて取得した情報は、個人が特定される形での集計・公表はいたしません。
日本体育協会は、本養成講習会における受講管理を業務委託いたします。
業務委託にあたっては、本会と委託先の間で個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取り扱いについては十分注意を払っております。
本会個人情報取り扱いについては、以下のURLよりご覧いただけます。
<http://www.japan-sports.or.jp/privacypolicy/tabid/102/Default.aspx>

ジュニアスポーツ指導員資格専門科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数			
			講義	実習	自習	計
基礎	ジュニア期のスポーツの考え方	子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性 (社会環境、体力運動能力の低下、心の問題) 今日の子どものスポーツ指導の問題点とその対策 (間違った指導による傷害・疾病・心理的障害) 本来のスポーツのもつ人間への影響 (幼少年期のスポーツ・運動経験が及ぼす影響) 大人のスポーツと子どものスポーツの違い (保護者の子どもスポーツに対する考え方) スポーツのやりすぎ、燃えつき 望ましいライフスタイルと運動・スポーツの関係 コーディネーション能力を高める運動の必要性	1.5		1.5	3
	ジュニアスポーツ指導員の役割	事業の背景と理念(本講習会が目指すもの) 本事業が目指すジュニアスポーツ指導員像 ジュニアスポーツ指導員に求められる能力	1.5		1.5	3
	子どもの発達とコミュニケーションスキル	個人差の容認(誰にでも長所と短所があることを認める) 対象者の目線に立つ(一緒に楽しむ) 「コミュニケーションの3V」の法則 積極的傾聴(質問、聴く、パージング、承認、深める、まとめる、沈黙など) 観察、洞察 アドバイス リクエスト	4		2	6
乳幼児期	動きの発達とスキルの獲得(基本的動作の習得)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る)	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	親子のあそび・ゲーム 1人でできるあそび・ゲーム グループでのあそび・ゲーム ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童前期	動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る) 運動組合せ	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	あそびや運動(ごっこあそび、ゲーム、運動あそび、スポーツ)の種類とそれらの発展のプロセス 幼少年期に必要とされる動きと、それらの動きを用いた運動の仕方 運動あそびやゲームの実際 ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童後期	動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)	時間的調整、空間的調整、力量的調整からなるスポーツスキルの習得	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	蹴る 投げる、打つ、捕る 滑る 叩く 走る、跳ぶ 泳ぐ、巻く、漕ぐ たたきつける、引いて押す ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
青年前期	動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの習得)	運動組合せのスムーズな展開	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	基本的な運動組合せ スポーツ種目特有のスキル(サッカー、野球、スキー、テニス、陸上競技、水泳、柔道、ダンス) ※コーディネーション能力を高める運動を含む				
指導実習	指導実習		8		0	8
	評価 筆記					
			27		13	40

公認ジュニアスポーツ指導員養成講習会申込みから受講の流れ

1. 受講申込み

公認ジュニアスポーツ指導員資格の取得希望者は、6/1～6/30までの間にインターネットサービス「指導者マイページ (<https://my.japan-sports.or.jp/login>)」の登録手続きを行い、指導者マイページより本講習会の申込手続きを行ってください。申込方法の詳細については、下記の URL よりご確認ください。

※必ず平成 28 年度中に共通科目・専門科目共に全日出席できる方がお申し込みください。

■ 日本体育協会ホームページ：ジュニアスポーツ指導員

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/214/Default.aspx>

2. 受講の決定

日本体育協会（以下「本会」）から受講希望者宛に受講決定通知を送付します。受講決定通知の内容は、以下のとおりとなります。

受講決定通知（日程表・講習会場案内図・受講料納入の案内等）

3. 受講料の納入

1) 納入方法

共通科目：NHK学園から9月上旬に届く教材の中に振込用紙が同封されておりますので、案内に基づきお支払いいただきます（受講料：19,800円）。

※共通科目が免除される場合は、受講料は必要ありません（教材送付なし）。

専門科目：本会から受講決定通知が届き次第、案内に基づき指定の期日（受講決定通知の際に連絡）までに、本会へお振込み下さい。（受講料：21,600円）。

2) 受講有効期限について

共通科目：1年間。検定試験不合格時の次年度以降の再学習料金は18,000円（1年）です。

専門科目：4年間。

3) 受講のキャンセルについて

共通科目、専門科目受講料について一度振込まれた受講料は、返金する事はできません。

また、振込み前の受講キャンセルについては、教材が未使用の場合に限り返品を受け付け、受講をキャンセルする事ができます。

4. 受講の開始

1) 共通科目

9月上旬に教材が届きますので、教材を基に学習を開始してください。

3回の課題提出があり、それぞれの提出期限までに課題を提出する必要があります。

2) 専門科目

教材が届き次第、自宅学習を開始してください。9月から始まる前期・後期集合講習会を受講し、後期集合講習会の最終日に検定試験を受験します。

後期集合講習会は前期集合講習会を受講していなければ受講する事ができません。また、

検定試験は前期・後期集合講習会を全て受講していなければ、受験できません。

5. 専門科目集合講習会

基本日程表に基づき講義を実施します。諸事情により講義日程が変更（講義科目の入れ替え等）する場合がありますので、ご了承ください。集合講習会の詳細については、別途ご連絡いたします。
なお、宿泊については、自己手配となります。

6. 受講結果

1) 共通科目結果

3回の課題提出者に対して、NHK学園から1月初旬に受講結果を通知いたします。
全体で6割以上の正答で共通科目合格となります。

合格者には、共通科目修了証明書を送付し、不合格者に対しては、追試課題のご連絡をいたします。

2) 専門科目結果

後期集合講習会時に行なわれる検定試験結果で、合否判定をいたします。

2月下旬頃に、本会から総合判定結果として、専門科目検定の結果を通知いたします。

7. 総合判定結果

共通科目、専門科目検定結果を総合した判定結果については、2月下旬に本会から受講者本人に対し通知いたします。

(1) 合格者 修了通知を送付します。

(2) 保留者 共通科目については、NHK学園の再学習をお申込ください。

専門科目については、次年度以降の集合講習会を受講、もしくは検定試験を受験してください。

8. 資格の登録

登録料のお支払いのご案内を3月に送付いたします。資格の登録に関する手続きを終了(登録申請書の提出、登録料の納入)した方を、平成29年4月1日付で公認ジュニアスポーツ指導員として認定いたします。

■申込に関するお問合せ先

公益財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部 ジュニアスポーツ指導員係

TEL : 03-3481-2226 FAX : 03-3481-2284 E-mail : junior@japan-sports.or.jp

<問合せ時間>平日9:30~17:30 (12:00~13:00を除く) /土・日・祝日休み

公認ジュニアスポーツ指導員 専門科目養成講習会 日程表

《前期集合講習会》

■第一日目

- 11:30~12:00 受付
- 12:00~13:00 開講式・オリエンテーション・指導計画表作成の説明・情報提供
- 13:00~17:00 ◇基礎：子どもの発達とコミュニケーションスキル（講義）
- 17:00~19:30 ◇基礎：ジュニアスポーツ指導員の役割（講義）

■第二日目

- 9:00~13:00 ◇コーディネーション能力を高める運動（講義・実習）
- 13:00~14:00 昼食休憩
- 14:00~18:00 ◇乳幼児期・児童前期（講義・実習）

■第三日目

- 9:00~13:00 ◇児童後期・青年前期（講義・実習）
- 13:00~14:00 昼食休憩
- 14:00~16:00 ◇ジュニア期のスポーツの考え方（講義）

※ 講義中も適宜休憩を取る予定。

※ 実習を伴う講義では、運動のできる服装・室内履きが必要となります。
 けが等されている場合については、事前にご相談ください。

	9月2日	9月3日	9月4日
9:00		9:00 開始	9:00 開始
10:00		コーディネーション能力を 高める運動 9:00~13:00	児童後期・青年前期 9:00~13:00
11:00	11:30 開始		
12:00	受付		
13:00	オリエンテーション・開講式・ 指導計画表作成の説明・ 情報提供		
14:00		休憩	休憩
15:00	子どもの発達と コミュニケーションスキル 13:00~17:00	乳幼児期・児童前期 14:00~18:00	ジュニア期のスポーツの 考え方 14:00~16:00
16:00			16:00 終了
17:00			
18:00	ジュニアスポーツ指導員の 役割 17:00~19:30	18:00 終了	
19:00			
20:00	19:30 終了		

《後期集合講習会》

■第一日目

9:30～11:30 ◇指導実習・評価①（講義・実習）

11:30～12:30 昼食休憩

12:30～16:00 ◇指導実習・評価②（講義・実習）

※ 講義中も適宜休憩を取る予定。

※ 実習を伴う講義では、運動のできる服装・室内履きが必要となります。
けが等されている場合については、事前にご相談ください。

■第二日目

9:00～12:00 試験説明・検定試験（筆記試験）

※日程は、諸事情により変更する可能性がありますので予めご了承ください。

	11月19日	11月20日
9:00	9:30 開始	9:00 開始
10:00	指導実習・評価① 9:30～11:30	試験説明・検定試験 9:00～12:00
11:00		
12:00	休憩	12:00 終了
13:00		
14:00	指導実習・評価② 12:30～16:00	
15:00		
16:00	16:00 終了	
17:00		
18:00		
19:00		

日本体育協会は約束します！！

日本体育協会は、公認スポーツ指導者制度に基づき「スポーツの未来を支えるグッドコーチ」を育成するため、指導者に対し、社会に対し、そして自分自身に対し、指導者育成が目指す方向性をここに示し、みなさんと約束します。

メインメッセージ

スポーツを未来へ継承する

「スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である。(スポーツ宣言日本)」

私たちが愛するスポーツは、世代も人種も越えて受け継がれてきました。しかも不断の進化(変容・拡大・深化)を続け、現在では、人々の生き方や暮らし方に重要な影響を与えています。

そのスポーツの現場において、直接的に活動を支えてきたスポーツ指導者たちの存在と功績は極めて大きく、日本のスポーツ発展の牽引役を担ってきたと言えるでしょう。

時代と社会の発展とともに進化し続けてきたスポーツ界において、指導者には何が求められてきたのか。これからの時代に何を受け継ぎ伝え導いていくのか。そして新たに何が求められてくるのか。

日本体育協会は、スポーツ指導者養成の取り組みを始めて50年が経過したことを契機に、改めて、スポーツ指導者のこれまでの実績を見つめなおし、その意義と役割を未来へつなぎ、広め、高めていくことを約束します。

指導者のみなさまへ

あなたの「学び」を全力で応援します

スポーツ指導者は何のために存在するのか。それは、スポーツの技能やパフォーマンスの向上、スポーツを通じた人としての総合的な成長、そしてスポーツの意義と価値の向上の3つといえるでしょう。

スポーツ指導者は、この3つを実践するため、プレーヤーズ・ファーストを基本スタンスとして、自分が持っている資質能力(思考、態度・行動、知識・技能)のすべてを駆使して、指導対象者の行動をプラス方向へ変容させることに力を注ぎ、その成果を高めるために「学び続けて」います。

「学び」は常に「わかる」から「できる」へ。さらに「いつでもできる」へと段階的に成長していきます。

日本体育協会は、あなたの「学び続ける姿勢」に応えるため、各種講習会や研修会を開催するとともに、さまざまな情報提供を通じて、あなたの「学び」を応援し続けていくことを約束します。

スポーツを愛するすべてのみなさまへ

「安全で、正しく、楽しいスポーツ活動」をサポートします

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」と謳う「スポーツ基本法」は、併せて「すべての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」としています。

日本体育協会は、公益法人の責務として、スポーツの意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる資質能力（思考、態度・行動、知識・技能）を有する公認スポーツ指導者を加盟団体等と一体となって養成していくことで「安全で、正しく、楽しいスポーツ活動」をサポートしていくことを約束します。

スポーツ界(自分たち)へ

指導者とともに、スポーツの未来のために

日本体育協会公認スポーツ指導者制度は、日本体育協会と加盟団体等が一体となって、各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立するために定めているものです。

このたび、指導者育成 50 周年にあたり「私たちは何のために指導者の育成を行っているのか？」と自らに問いかけたとき、その答えを「スポーツに関わるすべての人の幸福実現（うまくなりたい、つよくなりたい、健康でいたい、長生きしたい、仲間と喜び楽しみを共有したい）に貢献すること、養成された指導者の社会的価値を高めること、スポーツの意義と価値をつなぎ、広め、高めていくこと」と導き出しました。

スポーツ指導者の「学び」は常に「わかる」から「できる」へ。さらに「いつもできる」へ。と段階的に成長していきます。

スポーツ推進の担い手となるスポーツ指導者の成長を支えていくのは、私たちスポーツ団体の責務です。

スポーツに関わるすべての人を幸福にし、さらにその幸福を社会に広げていく活動のため「指導者とともに、スポーツの未来のために」とともに歩みましょう。